



学校法人 四国高松学園

〒761-0194 高松市春日町960番地

TEL (087)841-3255 FAX (087)841-3064

新型コロナウイルス対策 と教育の現状

本学は、新型コロナウイルス感染症等により経済的な影響を受けている学生の皆様に支援し、学生の皆様の健康と安全に配慮した学習環境の整備等に取り組んでまいりました。本号では、学長より「新型コロナウイルス対策と教育の現状」というテーマでメッセージをいただき、感染症対策と共に、コロナ禍における授業運営など教育体制についてお知らせします。



高松短期大学長
佃 昌道

本年1月より感染が始まった新型コロナウイルスは、世界各国に広がり、人々の生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。本学では、様々な実践活動を通して理論と実践を学ぶと共に、教職員と学生が対話する機会を大切にしながら人間教育を行ってまいりました。しかし、今回の新型コロナウイルス禍では、人と人の触れ合いの場が感染拡大を引き起こすため、教育活動にも様々な制限が加わり、大きな影響を受けることとなりました。

このような中、本学では感染予防・拡大防止の対策を行っており、現状における本学

の感染対策と教育体制についてお伝えします。

まず、本学では、中国での感染が報告された1月末に、学長、副学長、学生支援部長、事務局長、教学関係の次長・課長、校医・産業医、看護師等から構成する対策会議を立ち上げ、学生及び教職員の命・健康を第一として授業、課外活動、行事等をどう行っていくのかを検討しました。

幸いにも、校医・産業医が本学の教員であり、日常的に様々な案件について相談を行い、校医・産業医の専門的知識に基づき、朝の検温、マスクの着用、手指消毒の徹底、机の清拭等の感染予防対策を早期にまとめました。その結果、卒業式は学生と一部の教職員だけの参加となりましたが、本学体育館にて挙行

することができました。また、その経験を活かし、入学式及びオリエンテーションについては、時間短縮、一部内容を変更する等して実施することができました。加えて、在宅学習がスムーズに行えるように、メールアドレスの発行と利用説明を行い、当初予定されていた授業開始日から在宅学習での新学期をスタートすることができました。この時点での遠隔授業は、Google Classroomとメールを活用したオンデマンド型でしたが、その後、ゼミナールを中心にオンライン型での授業も始まりました。また、全教

員の非常勤を含む）を対象に、Google Classroom 利用説明会を複数回開催しました。しかし、在宅学習における学生の情報環境は様々であり、大きな課題もありました。これらの課題を踏まえ、対面授業の早期実施

の検討を進めると共に、全学生に学習環境整備支援金として5万円の支援を行いました。以上のようにできる限りの対策を講じ、また、対策会議の中で、課題・状況等の情報共有を行い、必要に応じて対応策を検討した結果、6月1日から対面授業を開始することができ、授業日程を変更することなく前期末試験を無事終了することができました。この間、多岐にわたり新型コロナウイルス感染症への対応を行いつつ授業運営ができたことは、学生及び教職員の協力のおかげと感謝申し上げます。



座席指定で授業を行う講義室



飛沫感染防止のためビニールシートを設置した学生支援部



席を区切るため飛沫感染防止パネルを設置した来客ブース



座席数を減らし飛沫感染防止対策をした図書館

秘書科学科長メッセージ

森 靖之

一つでも多くの検定取得を



新年度が開始してから半年が経過しようとしています。

特に1年生のみなさんは、コロナの影響で新年度オリエンテーション後、5月末まで登学できず不安だったと思います。私自身も4月から学科長に就任し、不安なスタートとなりました。しかし、6月には対面授業が開始となり、通常の状態とはいかないものの、大学内で学習できる環境になってきました。今後、コロナが終息に向かうことを願って

います。

なお、残念なことです。今年度予定されていた学外セミナー、高松まつり、大学祭などの行事が中止となりました。しかし、各種検定については、受験を再開しているものも多くありますので、ひとつでも多くの検定に挑戦してください。秘書科では、授業外での検定サポートを行っていますので、難易度の高い検定に挑戦することもできます。そして、入学前に設定した目標を、ひとつでも多く達成して、自分で納得のいく就職ができることを期待しています。

キラリ☆輝く人
海外研修に参加して



経営学部
経営学科3年
岡部 真由さん

令和2年2月17日～3月10日、本学と大学間交流協定を締結しているカナダのバンクーバーアイランド大学で海外研修に参加した。英語の授業はもとより、様々な国の留学生やホストファミリーとの交流を通して国際理解を深めた。「留学での経験を通して、英語を使ったコミュニケーションができれば、将来たくさんの方に挑戦できると感じました。そのために、今はTOEICをはじめとした英語の勉強に力を入れており、大学ではTOEIC対策の授業に積極的に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症が終息するまで実現は難しいと思いますが、他の国にも留学して経験を積みたいです。」と抱負を語ってくれた。

◆小学校教員採用試験を受験して



発達科学部子ども発達学科四年
吉岡 由記
6月20日に高知県、7月18日、19日に香川県で実施された小学校教員採用試験を受験してきました。

「チームで頑張る」。この言葉はある先生からいただいた教員採用試験に向けての心得です。個人で受ける試験をチームで頑張ることの意味、大切さを今、実感しています。採用試験を受ける学生のために先生方は多数の講座を開講し、あらゆる面で支えてくださいました。全員で講座に参加し、互いに教え合ったことで、より深い学びに繋げることもできました。当日の試験にも先生方に教わったことや友人同士で学び合った内容が出題され、試験中にも共に頑張ってきた仲間の存在を近くに感じられました。チームで意識を高めながら試験に臨めたのは、支えてくださった方々のおかげです。ありがとうございます。

認定こども園高松東幼稚園ニュース

やっぱり夏はこうでなきゃ！～思い切り水遊びを楽しむ～

6・7月、梅雨の長雨が続く中、晴れて気温の高い日には園内のいろいろな場所で水遊びを楽しむ光景がありました。

3～5歳児は例年より少し遅い6月11日にプール開きをし、屋外プールで陽射しを浴びながら冷たい水の気持ちよさを味わいました。密を避ける為に、大きなプールの他にビニールプールを出せる限り用意し、クラス内で分散して入れるよう工夫しました。毎日水を抜いて掃除をするなど、準備や片付け、活動の進め方に手間取ったり難しさを感じたりするところもありましたが、水しぶきを上げてキラキラと輝く子どもたちの嬉しそうな笑顔を見ると、「やっぱり夏はこうでなきゃ！」という思いになったものです。



0～2歳児は本格的に暑さが増してくる7月に入ってから水遊びを始めていきます。小さなビニールプールの水に浸かったり、バシャバシャとかけ合いっこしたり。他にも、砂場に水を流し込んだの泥んこ遊びや色水遊びなど様々な遊びを通して水に親しみました。

コロナ禍で制限されることが多いですが、子どもたちの豊かな経験、充実した園生活のためにしっかり考えていこうと思う夏でした。

コロナ禍で制限されることが多いですが、子どもたちの豊かな経験、充実した園生活のためにしっかり考えていこうと思う夏でした。

◆入学センターからの お知らせ

2021年度入試は大きく変わります。本学には選考方法が異なる4つの入試区分があり、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「共通テスト利用選抜」から選択できます。

旧AO入試に当たる「総合型選抜」において、奨学生入試（合格した場合は奨学金が給付される入試）を新しく導入しました。これにより、「共通テスト利用選抜」以外のすべての入試区分において奨学生入試にチャレンジできるようにしました。

また、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」の3つの入試区分では、約10分間の面談または約7分間の面接を実施する際に、2分間の「プレゼンテーション」を新たに導入することとしました。各面談・面接の冒頭で指定されたテーマ（今までの学校生活の中で、最も力を入れて取り組んだことなど6テーマ）の中から選び、口頭でプレゼンテーションをしてもらうものです。受験生の「筋道を立てて説明する力」を評価する

新しい入試方法です。事前に準備して練習することができず。詳細は学生募集要項をご覧ください。

◆医療用ガウン（代用品）を寄贈

7月16日、香川県医師会（高松市浜ノ町）において、保育学科の学生4名が、10着ずつ袋詰めにして手書きのメッセージを添えた医療用ガウン（代用品）100着を寄贈した。

6月1日の対面授業開始後、学生から「感染リスクの極めて高い医療現場で新型コロナウイルスと戦っている医療従事者の皆様に自分たちができるとはならないか」と声が上がったことがきっかけとなり、医療器材不足が発生していることを知って、保育学科の高塚順子教授のサポート



により、手作りの医療用ガウンを製作するプロジェクトが発足した。

6月下旬より机上消毒や手指消毒、マスク着用など感染防止対策を図った上で、短期大学の学生と教職員有志によるガウン製作が始まり、7月上旬に100着が完成した。

香川県医師会の久米川会長様からは感謝状とともに「今後、PCR検査の際など地域医療のために役立てたい」とのお言葉をいただいた。最後に藤澤副会長様から記念品も頂戴した。本活動は、学生および教職員有志の協力で、今後も継続予定である。

◆七夕に願いを込めて

飾り付け体験から日本の四季や風習を楽しみながら学生の創造力を高めることを目的に、保育学科の学生が6月26日に七夕飾りを行った。

風にゆれる笹の葉が夏らしい清涼感を醸し出し、個性あふれる七夕飾りや願い事を書いた短冊を結んだ竹が二号館南口ビーを美しく彩った。また、秘書科の学生も飾り付けを行い、一号館にも初夏が訪れた。

探訪/研究室

●自己紹介

経営学部 山口 直木



出身は東かがわ市白鳥です。平成12年度から現職です。専門は情報関連で、担当は業務システムに関連することが多いです。

●ゼミナールの特徴

経営情報コースのゼミですので、情報関連のトピックスを扱います。「情報」という言葉は英語に直すと、「information」であり、告知するという意味も含むので、どうすれば相手に話が伝わるかということも扱っています。

●ゼミ生へ一言

社会状況がどんなに変化しても活躍できる人材になることができるように、日々努力してください。

●二十歳の時の自分

勉強していました。そのことは多分、今でも役に立っています。ただ、サークル活動もせずに引籠り気味だったので大した思い出はありません。学生の皆さんはそうならないように充実した大学生活を送ってください。

探訪/研究室

●自己紹介

保育学科 有馬 則子



本学で2年目を迎えました。それまでは高松市立の幼稚園・こども園で約40年間、元氣いっぱいの子どもたちと一緒に過ごしました。その間の日々のエピソードを皆さんにお伝えできればと思います。

●研究室の特徴

保育実践力に繋がるようにと模擬保育・パネルシアターや指人形作り等、みんなでワイワイ賑やかに楽しみながら活動しています。

●研究室の学生へ一言

今は溜め込みの時期！それぞれの学びを交流しながら、温かな心と協力する力、保育者としての責任感を培っていきましょう！

●二十歳の時の自分

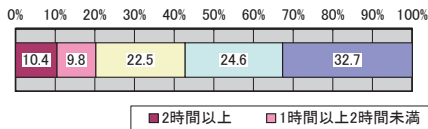
下宿生活をしていました。夜遅くまで先輩や友達と語り合ったり、フォークソング部に所属していたのでギターを弾きながら歌ったり……。今でも心に残る楽しく充実した毎日でした。もちろん学業も。

令和元年度 学生による授業評価

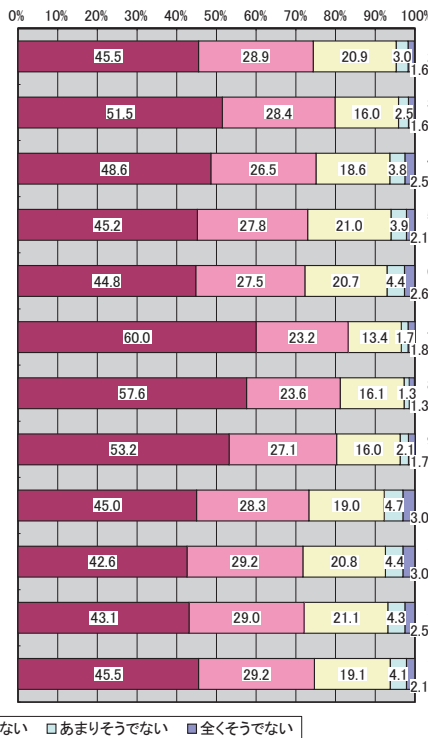
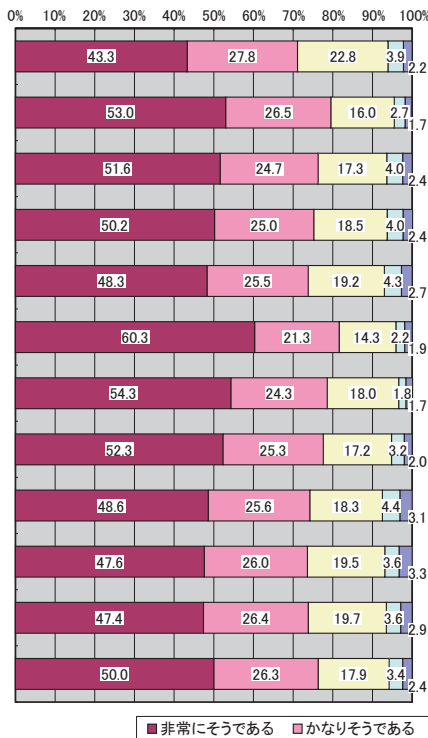
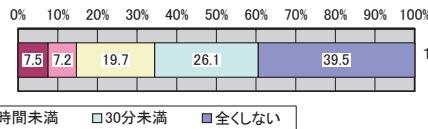
本学では、平成14年度から学期末に「学生による授業評価」を実施している。教育活動が、どのようになされているかの一端を把握し、授業内容・方法の改善・改革に資することを目的に取り組んでいる。評価結果は、実習・研修を除く全科目（集中講義を含む）と実習・研修科目に分けて集計。実習・研修を除く全科目（集中講義を含む）は大学、短期大学、大学院の全学共通科目、専門科目、全体について、実習・研修科目は大学、短期大学の専門科目、全体について平均値と回収率を算出している。また、各授業担当教員がこの結果に対するコメントを記入した報告書を発刊。年度別に冊子にまとめた報告書は、図書館で閲覧可能である。

次のグラフは令和元年度に実施した全体の集計結果である。回収率は、大学は75.26%、短大は88.59%、大学院は68.4%であった。

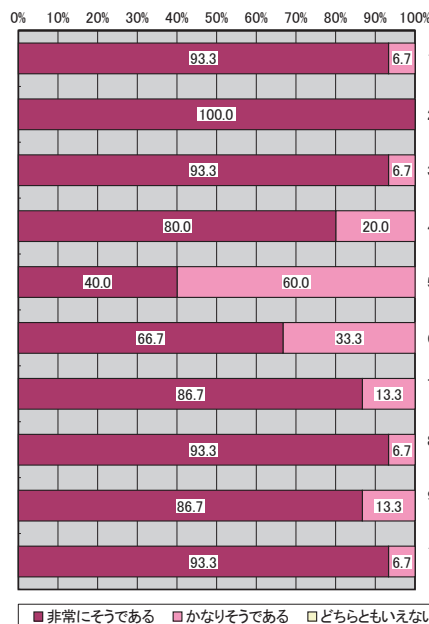
高松大学



高松短期大学



高松大学大学院



ご寄附のお願い

本学園は、学生、園児に対する支援充実のため、ご寄附を募っております。

誠に恐縮ではございますが、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

★募集期間 随時受付します。
★申込方法 本学ホームページもしくはお電話にてお申込みください。

★連絡先 総務部会計課
087(841)2161

編集後記

☆新型コロナウイルスの影響により、本号は掲載ページを変更してお届けしています。

☆高松大学サッカー部が香川県サッカー選手権大会で優勝し、天皇杯全日本選手権大会に初出場します。応援よろしくお祈りします。